

授業科目 精神障害作業療法学Ⅰ

【担当教員名】 岡村 太郎	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

精神障害に対する作業療法の治療、訓練、援助の主たる知識を理解する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】

- 1 精神障害に対する作業療法の役割を知るために、精神障害者の生活機能と障害、背景因子について説明できる
- 2 精神障害に対する作業療法の目的、役割について述べるができる
- 3 精神障害に対する作業療法の治療構造について説明できる
- 4 精神障害に対する作業療法の理論的枠組あるいは関連する療法について説明できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	精神と作業について：精神と作業の関連について述べるができる	1	講義、担当：岡村
2	精神の病と障害：精神障害の歴史的・文化的側面と現代の背景因子と関連	1	講義、担当：岡村
3	精神の病と障害：精神障害者の生活機能と障害について述べるができる	1	講義、担当：岡村
4	精神障害に対する作業療法の役割：回復過程に沿った働きかけと役割を述べるができる	2	講義、担当：岡村
5	精神障害に対する作業療法の役割：治療的環境が果たす役割、治療目的別役割について述べるができる	2	講義、担当：岡村
6	精神障害に対する作業療法の視点：質的・量的視点から作業療法の効果を述べるができる	3	講義、担当：岡村
7	精神障害に対する作業療法の視点：作業療法モデルについて述べるができる	3	講義、担当：岡村
8	精神障害に対する作業療法の治療構造：要素とその特徴について述べるができる	3	講義、担当：岡村
9	精神障害に対する作業療法の治療構造：対象者の要素、作業活動の要素、集団の要素について述べるができる	3	講義、担当：岡村
10	精神障害に対する作業療法の治療構造：作業療法士の要素、場所の要素、時間の要素について述べるができる	3	講義、担当：岡村
11	精神障害に対する作業療法の治療構造：作業療法における対象関係について述べるができる	3	講義、担当：岡村
12	一	4	講義、担当：岡村
13	精神障害に対する作業療法に関連する療法を数種類述べるができる	4	講義、担当：岡村
14	まとめ		講義、担当：岡村

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	精神障害と作業療法	山根寛	三輪書店	2000
	ひとと集団・場	山根寛	三輪書店	2000
参考書	ICF国際生活機能分類		中央法規	2002 3500円
その他の資料				

【評価方法】 期末テスト・出席・レポートにより評価	【履修上の留意点】
------------------------------	-----------